

議題2. オリパラ選手及び関係者の感染状況について政府よりヒアリング

問1 現段階でのオリパラ選手及び関係者の感染状況について説明してください。

- ・感染者数
- ・感染者の詳細情報（公表日、陽性報告日、日本の居住者かどうか、国籍、競技種目、性別等）
- ・濃厚接触者数（公表日、陽性報告日、日本の居住者かどうか、国籍、競技種目、性別等含め）

（答）

- 組織委員会においては、ア kredィテーション保有者に係る感染状況を取りまとめ、公表を行っているものと承知しております。なお、7月20日時点の公表資料は、別添のとおりです。

問2 選手及び関係者の感染及び濃厚接触者の判定により試合不可となったケースがあるかどうか示してください。また、そのようなケースがあるのであれば、その試合のリストと試合不可と判断した根拠を説明してください。

問3 選手及び関係者の感染及び濃厚接触者の判定があつたにもかかわらず試合を開催するケースがあるかどうか示してください。また、そのようなケースがあれば、その試合のリストと試合可能と判断した根拠を説明してください。

（答）

- 7月20日現在、試合は行われていないものと承知しております。

問4 濃厚接触者が試合に出場し、試合出場が原因で感染した場合、誰がどのような形で責任を負うのか、説明して下さい。

（答）

- 濃厚接触者となったアスリートが発生した場合には、
 - ・14日間の個室での滞在や外出の禁止、一人での食事、個別移動等の追加的な措置を行うこと
 - ・14日間毎日PCR検査を行うこと
 - ・その上で、練習や試合参加をする際には、試合開始前6時間以内を目安としたPCR検査で陰性を確認し、接触が想定される競技の場合にはさらに終了後にもPCR検査を実施すること
 - ・濃厚接触者が陽性と判明した場合に速やかに対応できるよう、対戦相手など、更に濃厚接触者となる可能性のある人をリストアップすることなど、厳重な防疫措置を講じることにより、感染拡大を防止しつつ、アスリー

トの競技参加を可能とすることとしております。

- なお、アスリート等に陽性者が発生した場合、軽症・無症状者については、宿泊療養施設において健康管理や相談等を行い、治療等が必要な者については、関係自治体と調整の上で、大会指定病院等へ搬送する仕組みとなっていると承知しております。

問5 南アフリカのサッカーの選手の陽性が確認されましたが、陽性の選手は、試合に参加できますか。この選手は現在、選手村の内にいますか、外にいますか。また、この陽性の選手の濃厚接触者の選手は試合に参加できますか。

(答)

- 大会のルールとして、陽性となった選手は、基本的には競技には出場させない方針となっております。当該選手は、現在、選手村外の宿泊療養施設で隔離されていると伺っております。
- なお、濃厚接触者となったアスリートが発生した場合には、
 - ・ 14 日間の個室での滞在や外出の禁止、一人での食事、個別移動等の追加的な措置を行うこと
 - ・ 14 日間毎日 PCR 検査を行うこと
 - ・ その上で、練習や試合参加をする際には、試合開始前 6 時間以内を目安とした PCR 検査で陰性を確認し、接触が想定される競技の場合にはさらに終了後にも PCR 検査を実施することなど、厳重な防疫措置を講じることにより、感染拡大を防止しつつ、アスリートの競技参加を可能とすることとしておりますが、詳細な取扱いについては、現在、組織委員会、IOC、IF 等が調整を行っているものと伺っております。

問6 今までに明らかになったコロナ陽性の選手の濃厚接触者、濃厚接触疑いの選手は合計何人ですか。それらの方々の中で選手村の中におられるのは何人ですか。選手村の固まった隔離スペース 1ヶ所におられますか、あるいは、バラバラのエリアにおられますか。

(答)

- 組織委員会の発表によれば、今回の南アフリカの件に関し、7月20日時点で、濃厚接触者数は18人となっておりますが、この数には、選手以外の数も含まれる可能性があるものと承知しております。
- 濃厚接触者となった選手については、選手村外での待機が基本となっておりますが、CLOによる適切な管理等が行われる環境において選手村内での待機を行う場合があると伺っております。なお、待機措置にあたっては、個室での滞在や一人での食事等、追加的な措置が適切に実施された上で、エリアの集約が図られていると伺っております。